



# 同窓会

## 母校50周年記念事業報告

金井高校の50周年及び5年後の統合に関しては、全同窓会員に「タウンニュース金井高校50周年特別号」を送付させていただくことで、お知らせしたところですが、この度、同窓会としての母校50周年記念事業がすべて終了しましたので、改めて、同窓会報WEB版としてご報告いたします。

同窓会では、2024年1月に金井高校内で発足した「創立50周年実行委員会」に参加、同窓会長・森が実行委員長を務める形で、積極的にかかわってきました。その中で、記念事業を支えるためのクラウドファンディング、金井高校の50年に貢献された方々に感謝を伝える場でもある記念祝賀会、そして、50年間の歴史のまとめとしての記念誌などについて中心的な役割を果たしてきました。また、同窓会の独自事業として、地元タウン誌のタウンニュース社の協力を得て「タウンニュース・金井高校創立50周年特別号」発行してもらい、全会員に発送しました。

“50周年”には、これまでの他の周年事業とは異なる重みがあることから、同窓会としても深くかかわるべきと考え、上記「実行委員会」の各部会に同窓会役員を配置するなどして取り組んできましたが、その最中に「5年後の舞岡高校との統合」という衝撃的な発表があり、“50周年を祝う”だけではなく、“残り5年”となった金井高校の今後についての取り組みを伝えていくという、新たな目的が加わることになりました。今号では、これらのことも含めて、それぞれの事業及び収支のご報告をさせていただきます。

### Contents

- “中庭再生”クラウドファンディングを実施！
- 50周年記念式典に出席、祝賀会を開催！
- 「タウンニュース・金井高校創立50周年特別号」を全会員に発送！
- 創立50周年記念誌の編集に尽力
- 記念事業費収支報告

## “中庭再生”クラウドファンディングを実施！



2026.5.29 南棟5階より撮影



思い出の中庭に緑を取り戻し、在校生に癒しと憩いの場を！

[目標対事件](#)

現在の寄付総額

3,304,016円

110%

目標金額 3,000,000円

A 支援者数

223人

🕒 締め切りまで残り

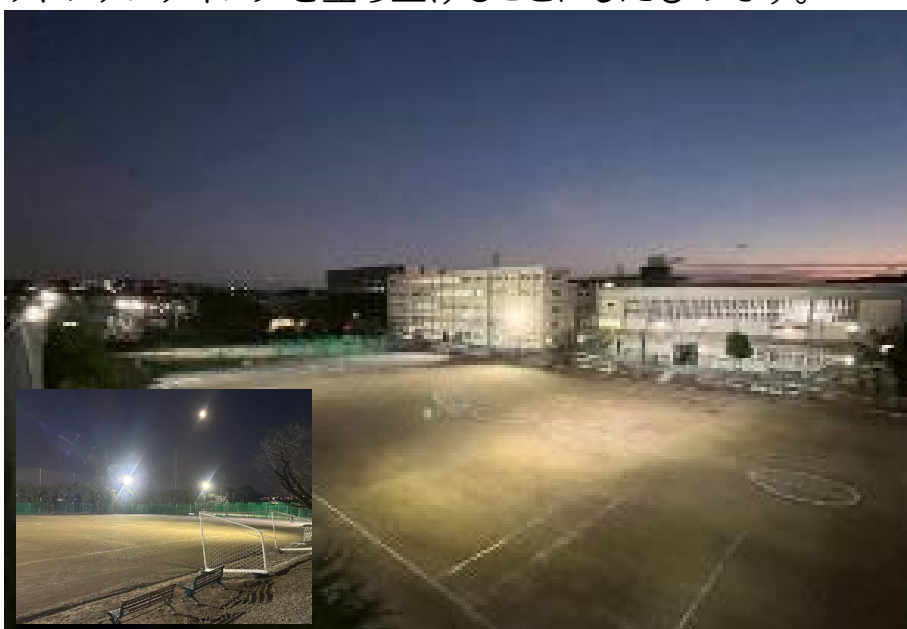
0日

このプロジェクトは、  
終了しました

【写真上】工事完了後約2か月、緑がはっきりしてきた中庭  
【中】クラウドファンディング終了時の画面【下】工事前の荒れた中庭

金井高校の創立50周年実行委員会では、記念事業の実施に当たっていくつかの案を検討した結果、外部活の冬期の放課後活動に十分なグラウンドの夜間照明設備の設置と、病害虫被害でツツジを撤去した後、荒れたままになっていた中庭の改修が候補として挙げられました。いずれも学校の通常の年間予算での対応は困難であり、県の「まなびや基金」制度を利用した記念事業としての実施が適切であること、どちらも次の周年事業まで延期するべき内容でないことから、最小で総額 450 万円が見込まれる予算を校内の周年積立金と同窓会からの寄付を合わせて対応する方向で合意しました。

その際、グラウンド夜間照明は 200 万円で設置できる見込みである一方、中庭改修費用は最小が 250 万円であり、それを上回る予算が確保できればより理想的な中庭にできることから、夜間照明費用を校内積立金 200 万円で対応する形にするとともに、同窓会本予算から残り 250 万円を立て替えた上で、それを上回る額を目指して、同窓会主催のクラウドファンディングを立ち上げることにしたものです。



“中庭再生”事業と合わせて行われたグラウンド夜間照明は 2025 年 12 月初旬に設置

同窓会では、クラウドファンディングを実施するにあたって、他に比べて手数料が割高であるものの、学校専門でノウハウに優れ、また、目標額達成の有無にかかわらず寄付金回収が可能な、株式会社エデュケーションネットワークが運営するクラウドファンディング・サイト“yellz(エールズ)”と契約し、「金井高等学校同窓会・母校50周年記念プロジェクト“思い出の中庭に緑を取り戻し、在校生に癒しと憩いの場を！”」を 2025 年 7 月 30 日に開始しました。公開したサイト上では、笠原校長先生や高杉PTA会長、生徒会長のコメントや、生徒会本部の皆さんのメッセージ動画のほか、米メジャーリーグ・LAドジャースのアスレティックトレーナー、中島陽介さん(第6期卒業生)からのメッセージもいただき、金井高校と同窓会が一体となったプロジェクトであることのアピールもできました。

ところが、この期間中に、予想だにできなかった5年後の舞岡高校との統合という衝撃的な発表があり、クラウドファンディングの目的そのものが揺らぐ事態に陥りました。しかし、笠原校長先生のご尽力により、いち早く統合後の学校に夜間照明の移設及び中庭芝生の移植の目途が立ったこと、また、“最後の5年間も「金井高校の学びを止めない」ことのシンボルとする”という新たな目標を付加できたことから、当初 11 月末までとしていた期間を 12 月末まで延長して継続することができました。

最終的には、金井高校生徒会から金井祭の売上金の一部を寄付いただいたり、隣接の住友電工株式会社横浜製作所様からも寄付をいただいたりしたのをはじめ、同窓生を中心に地域の方々、現旧職員や保護者の方など総勢 223 人の皆様から総額 3,304,016 円の寄付をいただいただけでなく、プロジェクトサイトには中庭の思い出や、生徒の皆さんへのメッセージなど、協力いただいた皆さんからの温かいコメントが多数寄せられました(これらのコメントは今もプロジェクトサイトでご覧いただけますので、是非、ご覧ください)。また、クラウドファンディングの周知のため、寄付募集のポスター、チラシを作成しましたが、ポスターの掲示やチラシの配付について、金井高校及び金井高校PTAをはじめ、卒業生の皆さんの店舗や近隣の学校、企業の皆さんなど、多くの方々にご協力いただきました。

手数料や諸経費を除くと、実収入はほぼ 250 万円となりましたが、おかげさまで最低限の目標であった芝生整備が可能な金額を確保できました。寄付してくださった皆さん、周知にご協力いただいた皆さんに感謝申し上げます。



中庭整備工事の様子(2026 年 3 月)

中庭の工事は、芝生が定着しやすい時期を待って2026年3月に行われ、同5月末には緑が濃くなってきている様子が見られるようになりました。今後は、芝生のメンテナンスなどが必要になってきますが、この新しい中庭が、現在の、そしてこれからの金井生にとっての癒しと憩いの場になってくれることを願っています。

※クラウドファンディングに関して詳しくは次のリンクから、寄付者向けの報告書がご覧いただけます。

[https://kanai-hs.com/wp-content/uploads/2026/07/20260407kanryouhoukoku\\_mobile.pdf](https://kanai-hs.com/wp-content/uploads/2026/07/20260407kanryouhoukoku_mobile.pdf)

※寄付いただいたみなさんからの応援コメントが次のリンクからご覧いただけます。

[https://yellz.jp/detail/140026/comment/?community\\_id=371&t=d&pd=1](https://yellz.jp/detail/140026/comment/?community_id=371&t=d&pd=1)

## 50周年記念式典に 役員が出席、祝賀会を開催！ 記念式典は鎌倉芸術館で、記念音楽会も



【写真上】  
式典の舞台の様子  
【写真左】  
式典と祝賀会のパンフレット、  
記念品の校名入りボールペン

創立50周年記念式典は、2025年10月30日、鎌倉芸術館・大ホールで開催されました。全校生徒・職員・PTA役員、来賓として招待された歴代校長をはじめとする旧職員、県内高等学校の校長・PTA会長、学校運営協議会委員等の近隣関係者など、1,100名を超える出席者となったこの日は、同窓会役員も全員が出席し、第1部を記念式典、第2部を記念音楽会としておこなわれました。

オープニングムービーと吹奏楽部の演奏で幕を開けた第1部・記念式典では、開式のことばの後、まず、50周年実行委員長である森同窓会長が挨拶※1、続いて笠原校長、高杉PTA会長が挨拶し、50周年にあたってのそれぞれの思いだけでなく、発表されたばかりの5年後の舞岡高校との統合のことに触れ、これからの5年間に関する決意を語るなどしました。

県教育委員会祝辞、来賓紹介、谷岡生徒会長の挨拶のあと、「歴史を振り返るムービー」として初期の金井高校の「名物」であった“田植え”授業の様子を撮影した動画が上映され、その後、校歌斉唱をおこないました。続いての「お祝いムービー」では、卒業生の、江幡哲也さん(6期)、内田和歌菜さん(26期)、遠藤航さん(34期)、中島陽介さん(12期)、内山佳子さん(12期)からのお祝いメッセージ動画が上映され※2、札幌テレビアナウンサーの内山さんの動画が朝のニュース番組のお天気レポート風に制作されているなど、それぞれの卒業生ならではのメッセージに会場は大いに盛り上がりました。

第2部の記念音楽会では、まず、卒業生のミュージシャン、猫田ねたこさんが、所属するJYOCHOのだいじろーさんの伴奏で歌を披露、それに続いて、軽音楽部、吹奏楽部、合唱部の演奏や合唱がおこなわれ、最後は音楽祭に熱心に取り組んでいる金井高校らしく、生徒全員による合唱【写真右】で締めくくられました。



※1:森同窓会長、及び笠原校長先生の式辞全文はこちら  
<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/kanai-h/seikatsu/50thceremony.html>(金井高校HP)

※2:江幡哲也さん、内田和歌菜さん、猫田ねたこさんのプロフィール及びインタビューの記事はこちら

江幡哲也さん(6期):

<https://kanai-hs.com/?p=908>

内田和歌菜さん(26期):

<https://kanai-hs.com/?p=1021>



宮崎 俊忠 先生

八柳 誠一郎 先生(新城高校校長)

望月 正大 先生

式典または祝賀会に出席の同窓生(卒業期順・50音順)

神保 真由美 (1期)同窓会役員

北井 宏昭 (9期)県議会議員

山田 久美子 (1期)旧職員

伊与木 一彦 (10期)祝賀会司会

山田 雅人 (1期)初代同窓会長

長谷部 健一 (10期)同窓会副会長

子安 政宏 (3期)2代同窓会長

山本 圭一 (11期)現職員

佐藤 りか (3期)藤沢清流高校副校長

村山 明夫 (13期)現職員

石井 誠二 (4期)同窓会役員・現職員

河野 佑太 (25期)現職員

白井 忍 (4期)同窓会役員

小島 将太 (25期)同窓会副会長

森 秀明 (4期)同窓会長

塚本 寛之 (25期)

田島 直人 (7期)

# 「タウンニュース・創立50周年特別号」 を全会員に発送!



同窓会独自の事業として、地元タウン誌のタウンニュース社に「タウンニュース・神奈川県立金井高等学校創立50周年特別号」の編集・発行を依頼することとしました。

これは、創立50周年を機に、金井高校の活動や魅力を地域の皆さんに幅広く知っていただくためと、母校の50周年式典などの様子をいち早く会員の皆さんにお届けすることを目的として企画したものです。

この特別号は、「タウンニュース」の通常の紙面とは全く別に、4ページに及ぶ紙面の全てを金井高校の記事だけで構成し、同誌の配付地域のうち栄区内及び戸塚区内に新聞折込で配付する、まさしく「特別号」で、タウンニュース社に取材・編集・発行をしてもらうものです。このため同窓会では、金井高校の協力を得て母校の魅力を伝えるために必要なことがらをピックアップして貴社の方々に伝えるとともに、発行の資金となる協賛広告を集める作業を開始しました。栄区内にありながら戸塚区に隣接する地域に位置する金井高校の特性上、2つの地域に配付する必要があり、広告費が2誌分と割高になることから、協賛広告集めには多くの労力を費やしましたが、金井高校周辺地域の町内会・企業の皆様、進学先の上級学校、金井高校ゆかりの皆様、同窓生の経営する企業・法人など、多くの皆様の協賛を得て、総額200万円強の広告費を賄うことができました。

他の事業同様、当初は金井高校の50周年の様子と生徒の活躍や教育の様子を紹介して母校の魅力を伝えると共にクラウドファンディングへの協力を呼び掛けるという方向で準備をしていましたが、9月の舞岡高校との統合発表で変更を余儀なくされることになりました。しかし、笠原校長をはじめとする教職員の皆さんが、5年後に統合されるとしても、これからも「金井高校の学びを止めない」という方針を早々に打ち出していただきました。このため、特別号には新たに、「統合の詳細を正しく伝え、これからの入学生も皆、金井高校生として卒業できることを周知する」、「金井高校はこれからの5年間をこれまで集大成と位置づけ、より良い教育を目指していく意気込みに満ちていることをアピールする」という目的を新たに追加して、取材・編集をしてもらう方向で確認することができました。

「タウンニュース・神奈川県立金井高等学校創立50周年特別号」は、10月30日(木)の記念式典の取材を経て、11月21日(金)に発行され、横浜市栄区及び戸塚区の約5万2千世帯に配付されたほか、金井高校の全校生徒及び教職員に配付されました。さらに、同窓会では、同窓会報に代わるものとして全会員にこれを発送しました。発行直後から金井高校には多くの反響が寄せられたとのことで、新たな目的も含め、十分にその目的を達成できたものと考えています。

また、金井高校では中学3年生向けにこの「タウンニュース」を増刷、学校説明会出席者に配付したとのことで、金井高校入学希望者の増加にも一役買うことができました。

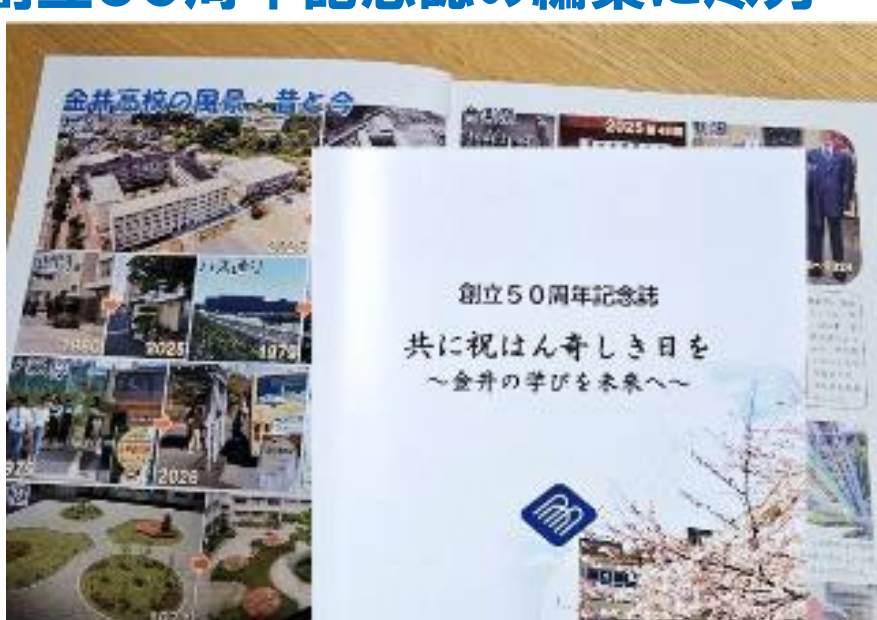
## 《「タウンニュース・神奈川県立金井高等学校創立50周年特別号」 に広告協賛をいただいた皆様》

※名称は広告上の表記に合わせています(50音順)。また、同窓生のお名前入りの広告には卒業期とお名前を( )内に表記しています。

- 麻布大学/株式会社アドエイド/アンドウスポーツ/学校法人三橋学園
- 飯島幼稚園/生駒造園土木株式会社/株式会社 内田洋行 教育ICT事業部
- 江口医院/桜美林大学/有限会社オールライト (7期・田島直人)
- 11期生放送委員会 有志一同/金井自動車工業株式会社/金井町内会
- カワハラプリント/株式会社 協伸建材興業/株式会社 共同
- 九つ井 本店/サミットネットスーパー/秀和株式会社/鈴木歯科医院
- 住友電工/大紀工業株式会社横浜工場/田谷町内会/株式会社 ティエムスポーツ
- 東京菅公学生服株式会社/東京都市大学/株式

会社 同窓会事務局／豊田連合町内会自治会／医療法人横浜博萌会  
西横浜国際総合病院／医療法人弘静会 野村医院／マイドスポーツ／  
株式会社 松尾工務店／社会福祉法人 恵の園（1期・山田雅人）／シ  
ーガルスクール アピタ戸塚店・ゆめが丘ソラトス店／横浜車輛工業株  
式会社／横浜丸魚株式会社（4期・小島雅裕）／らーめん花楽  
※この「タウンニュース・神奈川県立金井高等学校創立50周年特別号」は、  
2025年12月に全同窓会員向け発送いたしました。転居等の理由でお届  
けできなかった会員の方については、転居先等を同窓会にお知らせいた  
くことで、WEB版が閲覧できるURLをお知らせしております。該当の  
方は、同窓会ホームページの「お問い合わせ・住所変更等入力フォーム  
([https://kanai-hs.com/?page\\_id=47](https://kanai-hs.com/?page_id=47))」よりお知らせください。

## 創立50周年記念誌の編集に尽力



同窓会では、50周年が金井高校の歴史にとって大きな節目となることから、それぞれその時点での過去10年間に焦点を絞って編集されてきた20周年～40周年の記念誌とは異なる、創立から現在までの50年間ができるだけ網羅されたものであるべきだと考えました。そのためには、創立期からの出来事に記憶や経験のある同窓会の人間が積極的にかかわる必要があることから、50周年実行委員会の記念誌部会に役員2名が参加し、教員の皆さんと共に取材や編集に携わりました。

編集にあたって、「それぞれの当時の生徒・職員にとっての思い出につながる物事をできるだけ掲載すること」「様々な分野で活躍する同窓生を紹介すること」「できるだけ多くの記事で現役生徒にかかわってもらうこと」を方針としました。金井祭の歴代ポスターなど学校の記録で欠落していた資料の収集に多くの同窓生の協力を得たり、サッカーの遠藤航選手をはじめとする著名な卒業生に多くの方々を介してコンタクトをとったり、ある企画に使用する写真をすべて写真部のみなさんをお願いしたりといった作業の結果、多くの記事ができていきました。

そんな中、5年後の舞岡高校との統合という2025年9月の県発表により、記念誌についても大きな見直しを余儀なくされることになりました。これに伴い、発行予定を延期し、新たに50周年に関する記事、統合に関する記事を加えるとともに、最後の5年間についても見ていただける仕組みを作りました。また、記念誌のタイトルについても、当初、これまでとは一線を画す意味で敢えてシンプルに「神奈川県立金井高等学校創立50周年記念誌」とする予定でしたが、これが金井高校としては最後の周年記念誌となること、金井高校の歴史がまさに初代校長・新山泰先生のおっしゃった「祝福に値する毎日」であったことを示すために、校歌の結びの一節「共に祝はん奇しき日を」をタイトルとし、金井高校が無くなっても「金井の学び」は続いていくことを示すために「～金井の学びを未来へ～」を副題とすることとしました。

そのような経緯を経て、創立50周年記念誌「共に祝はん奇しき日を～金井の学びを未来へ～」は、2026年3月、無事発行することができました。この記念誌は、生徒及び教職員に配付されたほか、神奈川県立全校宛及び、50周年記念式典・祝賀会に出席された皆さん宛に発送されました。また、これに併せて、同窓会では、クラウドファンディングの“中庭再生”プロジェクトに1万5千円以上の寄付をいただいたみなさんに返礼としてお送りしました。

## 記念事業収支報告

会計年度	日付	摘要	収入額	支出額
2024年度	4月21日	実行委員会口座振込(まなびや)	振	¥2,500,770
	7月30日	募集ポスター作成		¥5,500
	7月30日	募集チラシ作成	振	¥19,525
		年度計		¥0
2025年度	8月18日	募集チラシ増刷	振	¥21,395
	8月20日	CF7月寄付分		¥105,534
	9月20日	CF8月寄付分		¥871,444
	10月20日	CF9月寄付分		¥333,302
	10月28日	祝賀会会費同窓会負担分		¥24,000
	10月28日	祝賀会機材レンタル代、謝礼		¥55,000
	11月20日	CF10月寄付分		¥54,206
	12月20日	CF11月寄付分		¥112,752
	1月20日	CF12月寄付分		¥1,168,198
	1月20日	50周年記念祝賀会追加費用	振	¥44,300
	2月20日	CF1月寄付分		¥2,076
	3月6日	50周年記念誌作成費 同窓会負担分	振	¥393,440
	3月16日	50周年記念誌送料 CF返礼分	振	¥37,829
	3月16日	50周年記念誌送料 同窓会分	振	¥8,624
		年度計		¥2,647,512
	総計		¥2,647,512	¥3,110,383

振…振込手数料を含む

(支出総計)-(収入総計)= ¥462,871

同窓会の会計年度は、8月1日～翌年7月31日となっており、ふたつの会計年度にまたがってしまうことから、各年度の会計報告では全容が分かりづらくなってしまうため、別

途、こちらで報告させていただきます。

同窓会では、同窓生の皆さんからお預かりしている会費の支出抑制のため、今回の記念事業についても、クラウドファンディングの活用により、必要最小限の支出となるよう努めております。

なお、前記の「タウンニュース」の制作及び送付費用については、通常予算の「会報発行費」で賄っております。